



# Probing the Future

日本マイクロニクスは“原理原則”を大切に  
世界トップレベルの技術と製品を創出し続けます。

エレクトロニクスは人々の暮らしを支え、生活をより快適に、より豊かにするために役立ってきました。最近ではスマートフォンやタブレット端末などのコミュニケーションツールや各種デジタル家電を世の中にもたらしましたが、これらエレクトロニクス製品の中心的構成部品が半導体です。半導体はエレクトロニクス製品の性能の決め手となっており、その進化は速く、日々、微細化や高性能化に向けて開発が進められています。今後は展望すると、半導体は環境にやさしい自動車や、社会を支える交通インフラ、公共システム、介護ロボットや医療機器、宇宙開発を促進する高度機器などに、活用をさらに広げていくことになるでしょう。

この半導体やFPD（フラットパネルディスプレイ）など電子デバイスのテスト分野において、常にお客様のベネフィットを考え、技術と製品を提供し続けてきたのが、日本マイクロニクス（MJC）です。1970年の創業以来、エレクトロニクス製品の安全性と品質を支えるため、半導体やFPDの電気検査に携わってきました。世の中のエレクトロニクス製品は、検査・計測機器によるテストをクリアしたものです。言い換えれば、今後の安心・安全社会の実現のために、MJCの電子計測技術や製品はなくてはならない存在だと言っても過言ではありません。

MJCの事業領域は社会の基盤である安心・安全を支えるビジネスです。このことを踏まえ、人や社会の基軸である原理原則を何よりも大切にすることは、MJCにとってごく当たり前のことです。原理原則にしたいが、たゆまぬ創意工夫と情熱で、人類の夢を叶える新たな技術フィールドを一步一步切り拓いていく。この姿勢こそが、MJCの存在価値を高めることだと考えています。

世界的トップブランドとしてのポジションは創業以来、お客様のニーズに寄り添い、地道に技術を磨いてきた結果だと自負しています。

今後もMJCは会社の“原理原則”である経営理念や行動指針を大切に、テストビジネスを通して、社会の発展に貢献してまいりますので、一層のご期待をお寄せいただければ幸いです。



代表取締役社長 長谷川 正義

## 経営理念

電子計測技術を通して広く社会に貢献する。

## 経営方針

1. 蓄積された技術と製造ノウハウを結集し、顧客に最高のベネフィットを提供する。
2. 常に技術開発に注力し、新技術の実現に努める。
3. 全社員が自己実現を図り、創造性豊かな企業文化を構築する。
4. QDCCSSの改善および改革にすべての社員の力を結集する。

## 行動指針

原理原則を大切にする。

新たな分野を切り拓き、発展していくためには、これまでの経験や常識、慣例などに囚われるのではなく、物事の本質を見据え、原理原則に基づいた判断、発想、行動をするよう心がけることが肝要である。また、人間として道徳、倫理を判断基準として行動することにより、人はどんな局面においても迷うことはなく、うろたえることもない。

「観・感・勘」を大事にし、自己の能力開発を追求する。

製品や技術の開発に携わる人は日頃から、「物事をよく観察する」「観察から得られた感心、感動、感激を大事にすることを忘れてはならず、「観察、感動が勘を働かせ」、結果的に自己の能力が向上することに繋がる。

達成への5つのステップ「夢(needs)」「想定」「創意」「熱意」「実行」を確実に踏んでいく。

達成には「夢(needs)を叶えるために」「結果を想定し」「創意工夫をこらし」「熱意を持って励み」「継続的な実行努力をする」ことが最も重要である。